

明日の暮らしを支える技術研究開発

1. はじめに

ウミガメが産卵・孵化をする。そんな美しい砂浜がある県南の小さなまち「美波町」。

現在、NHKで放映されている連続テレビ小説「ウェルかめ」では、美波町の美しい海をはじめとする徳島の各地の風景や、お接待の心、情熱的なゾメキのリズムに酔う躍動的でしなやかな阿波踊りなど、徳島の魅力が全国のお茶の間に届けられています。

また、徳島県は、地鶏No. 1の生産量を誇る「阿波尾鶏」、焼きいもの代名詞「なると金時」、「ハモ」、「スダチ」などの食材に加え、伝統工芸の「藍染め」や、最近では、季節の風情を料理に添える「ツマモノ」など、海と川と山の幸に恵まれ、自然豊かで、温暖な気候と風土を有した、約79万の人々が暮らす「阿波のくに」です。

人と物との交流では、古くは海運、近年では海峡を渡る道路橋（明石海峡大橋・大鳴門橋）で関西圏と直接結ばれた四国の表玄関として、特に京阪神との結びつきが強くあります。

2. 地域密着型 産学官連携の新技术開発支援

徳島県では、県民の皆様「誇りと豊かさを実感していただける21世紀の徳島づくり」に向けた県政運営指針「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」の中で、「『経済飛躍とくしま』の実現」を基本目標に掲げ、厳しい経済状況や危機事象等のピンチを逆にチャンスとしてとらえて、人材育成、情報化、技術開発などの総合的な支援を図ること

により、しっかりとした産業づくりを推進することとしています。

この中で、建設産業の更なる構造改革の推進プログラムとして、平成21年11月から「新技术等活用支援モデル事業」という新事業を立ち上げました。

この事業は、建設工事に関する新技术・新材料・新工法の開発に取り組む県内企業等に対し、産学官連携による技術的な支援や適用機会を提供し、公共事業等における活用機会を促進させ、建設業の活力を増進するとともに、地域経済の活性化に寄与することを目的としているものです。

新技术等の支援としては以下のように考えています。

- (1) 県内の企業が開発した建設工事に関する新技术等を、広く一般に周知する。
- (2) 県内の企業が開発を希望する新技术等について、大学等学術機関との調整を図り、技術的側面の支援を行う。
- (3) 徳島県や関係機関が実施している各種助成制度の紹介を行う。
- (4) 県土整備部の事業等により、試験施工を実施し、その技術的評価を行う。

また、開発のテーマは「安心安全」「環境」「施工性」「情報化」等を主題として、今日的な課題の解決に取り組んでもらうことにしています。

3. 徳島県の課題解決に向けた新技术開発

徳島県における、今日的な課題としては、まず、

徳島県知事 い いずみ 飯 泉 か もん 嘉 門



少子高齢化の問題があります。

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、徳島県では、65歳以上のいわゆる「高齢者」が、2015年以降、県の人口割合で30%を超える時代に突入します。

少子高齢化社会に対応する建設技術としては、例えば、ユニバーサルデザインにもとづく「安心安全」な施設づくりやモノづくり。就業人口の逡減や就業者の高齢化に備えた「施工性」「生産性の向上」を目的とした施工技術の革新などです。

また、地球環境保全も重要なテーマです。

12月にコペンハーゲンで国連気候変動枠組み条約第15回締約国会議（COP15）が開催されましたが、徳島県でも温室効果ガスの削減に向けた「徳島県地球温暖化対策推進条例」をはじめとする、地球環境の保全や循環型社会の形成、自然との共生など、更に環境に配慮した社会活動の促進に取り組んでいます。

徳島県の公共事業は「徳島県公共事業環境配慮指針」「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づき、自然環境等に配慮した公共事業の推進を実施しております。これらを踏まえた「環境」「リサイクル」「木材利用」をキーワードにした新技術等により、環境保全への積極的な働きかけを行います。

更には、今後、期待される産業分野として「観光」があります。21世紀の我が国経済社会の発展のために「観光立国」の実現が不可欠な重要課題であります。

徳島県では、観光振興により地域の活性化を図

るための基本となる「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」を昨年6月25日に施行しました。

鳴門の渦潮や祖谷の秘境、人形浄瑠璃（文楽）、お遍路と阿波踊り、最近では、とくしまマラソンやとくしまラーメンなど、豊富な観光資源をより魅力的にアピールするために、建設で関与できる分野として、たとえば、地域の歴史と文化に根ざした景観づくりなどをテーマに、柔軟で新しい発想での建設技術に取り組み、観光施設等の質の向上を目指します。

その他には、情報化社会に対応するため、ICTを活用した建設技術、県産木材やLEDをはじめとする県産材の特長を活かした、徳島県ならではの建設関連の新材料・新製品など、いろいろな観点からの新技術を創出し、更に充実した社会基盤の構築に取り組みます。

徳島県は、これら明日の暮らしを支える技術研究をより積極的に支援し、「ウエルかめ」のヒロインと同じように「世界につながる仕事」を目指して、誇りと豊かさを実感できる「21世紀の徳島づくり」を進めていきます。

4. 最後に

徳島の「ウエルかめ」をはじめ、高知は「龍馬伝」、愛媛松山が「坂の上の雲」。四国は今、ドラマブームに沸いています。ぜひ四国へ、阿波徳島へお立ち寄りください。県民を挙げて歓迎をいたします。